

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公表番号】特表 2006-514645 (P2006-514645A)

【公表日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報 2006-018

【出願番号】特願 2004-560488 (P2004-560488)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/138 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 5/24 (2006.01)

A 6 1 P 5/30 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/138

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 5/24

A 6 1 P 5/30

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験者のマンモグラフィー感度を上げる方法であって、

4 - ヒドロキシタモキシフェンを経皮投与するステップを含む方法。

【請求項 2】

マンモグラフィーを実施する方法であって、

前もって 4 - ヒドロキシタモキシフェンを経皮投与された被験者にマンモグラフィーを実施するステップを含む方法。

【請求項 3】

被験者の分類 I I I または分類 I V の高密度乳房組織の乳房密度を低下させる方法であって、

4 - ヒドロキシタモキシフェンを経皮投与することを含む方法。

【請求項 4】

前記 4 - ヒドロキシタモキシフェンが水性アルコールゲルに製剤されている請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。